

たかす町 社協だより

はぐっ

NO. 201

2025 10 月号

テーマ

たすけあいのチカラ

～寄付が未来を変える～

鷹栖町限定
あつたかすくん



みんなの力をあわせて
赤い羽根共同募金



特集

- 「共同募金」はじまりのお話 世界を巡る 赤い羽根 … 1～2ページ
- 「赤い羽根共同募金」運動にご協力を
～鷹栖町で生まれているチカラ～ … 3～4ページ
- はぴねす de 募金・町民ポッチャ大会のお知らせ … 5～6ページ
- 2026年度版 赤い羽根共同募金バッジ
デザイン画コンテストのお知らせ … 最終ページ

2025年度版 赤い羽根共同募金バッジ デザイン画コンテストにて、見事特選に輝いた高校生とご家族

みんなで作った「共同募金」はじまりのお話

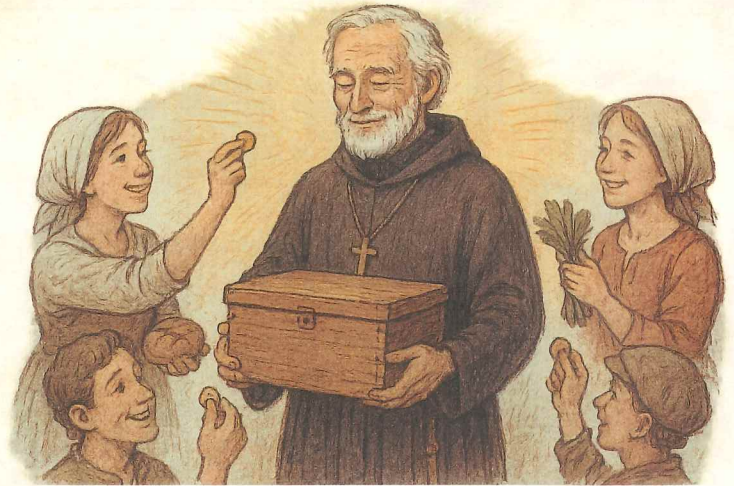
世界を巡る 赤い羽根



昔々、ヨーロッパのある村で
1人の牧師が、道端の樫の木に
「与えよ、取れよ」と書いた箱を
つるしておきました。

これは、生活に困っている人を
助けるためのものでした。

これを見た人の中で、多少とも
余裕のある人はその箱の中に
いくらかのお金を入れ、
困っている人は箱の中から
必要なだけお金を引き出して役立てました。



「ひとりでは小さな力でも、みんなで出しあえば大きな助けになるんだよ」

人びとは、少しずつお金や食べものを持ち寄り、子どもやお年寄りを
守りました。

やがて、この知恵は海を越えてアメリカへ渡り、「コミュニティ・チェスト」
という仕組みになりました。

アメリカでも、人びとは力を合わせて、まちの中でお金を集め、困っている人を
助けました。

そして、戦争が終わったばかりの日本にも、この考えが海を越え伝わって
きました。

日本でこの運動を始めるよう促したのは、アメリカから来日した
フラナガン神父です。

当時の日本は、第2次世界大戦の戦後だったので、戦争孤児や身体が不自由で
困っている人たちが多かった時代です。

「なるほど！ 日本でも、みんなで力を合わせよう！」

こうして、日本では「赤い羽根共同募金」が始まりました。
集められたお金は、子どもやお年寄り、病気の人や暮らしに困る人を助けました。

Community (コミュニティ) ◎語源：ラテン語 "commūnis" = 「共通の・共有する」 ◎基本的な意味：共同体・地域社会

1

Chest (チェスト) ◎語源：古英語 "cest" / ラテン語 "cista" = 「箱・かご」

◎基本的な意味：蓋付きの大きな箱、収納箱（宝箱のようなイメージ）



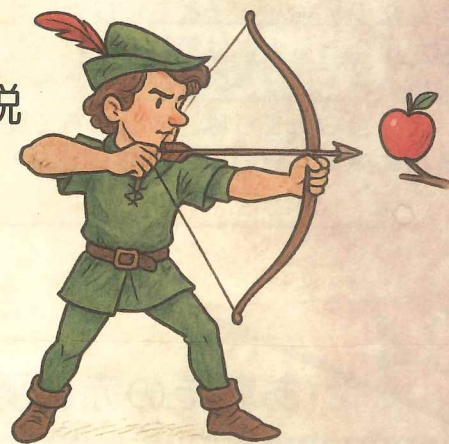
赤い羽根の由来

最初に日本で共同募金運動が始まった昭和22年は、赤い羽根ではなくコミュニティ・チェストと書かれた金属製のバッジを使用しました。しかし、金属製であったことからコストが高く、翌年から寄付した人に「赤く染められた羽根」を渡すことにしました。赤い羽根にしたのは、2つのエピソードが由来と言われています。

由来その1

イギリスの中世の英雄・ロビンフッドの伝説

14世紀、勇敢な行いをした1人の勇者には、赤い羽根をつける権利が与えられていました。その赤い羽根飾りのついた帽子を被っていた人物の名は、ロビン・フッドでした。



由来その2

アメリカの先住民インディアン

アメリカのインディアンは、色々な羽根飾りを頭につけており、羽根の色によって意味がありました。

中でも赤い羽根は、過酷な戦いに勝利した勇者のみ着用が許されていたと言われています



2つのエピソードから、赤い羽根は「勇気の象徴」として世界中に広がり、日本では「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」の象徴、そして「ありがとうのしるし」として、人びとの胸には赤い羽根が飾られるようになったのです。

それから70年以上たった今でも、赤い羽根は「世界からつながるたすけあいの心」のしるしとして続いているのです。



寄付が未来を変える！ 小さな 『赤い羽根共同募』

あなたの募金や寄付が私たちの身近で暮らす子ども、高齢者、障

01

赤い羽根共同募金とは？

赤い羽根共同募金は、地域の福祉をそっと支える全国の想いの輪。戦後まもない1947年に生まれ、毎年10月、その輪は全国一斉にひろがります。

あなたの募金が、子どもには安心を、高齢者にはぬくもりを、障がいのある人には笑顔あふれる毎日を届けます。

災害のときには、いち早く人と人を結ぶ力になります。

「自分たちのまちは、自分たちで支える」
その約束を、赤い羽根に託してみませんか。

02

実施期間は？

毎年、10月1日から翌年3月31日まで
(2016年〔平成28年〕に3か月から

鷹栖町で生まれてい
(寄付で支えられている主な

04

あなたの赤い羽根が、すぐ近くの誰かの今日を支えています

地域の子育てを支えるために



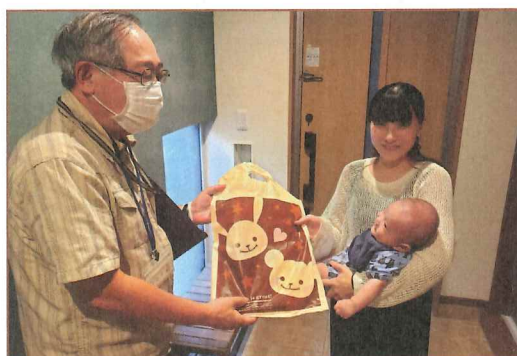
多胎育児サークルハッピーキッズ旭川支部

みんなの安全な暮らしを支えるために



たかすふまねっと「一歩いっぽ」

誰もが暮らしやすい社会をつくるために



鷹栖町民生委員児童委員協議会

障がいのある人や高齢者への理解を育むために



鷹栖青年会

羽根が集まって、大きなあったかすに 金』運動にご協力を

がいのある人、そして地域すべての人の「安心」と「笑顔」につながっています

03

寄付はどんなことに使われるの？

の6か月間です。

6か月へ拡大されました)

- ・じぶんの住むまちをより良くする地域福祉活動に
- ・障がいのある人やお年寄りなど、支援が必要な方への取り組みに
- ・災害時の「災害ボランティアセンター(※)」運営など、いざという時の支えに

※災害ボランティアセンター⇒災害時に設置され、被災された方とボランティアをつなぐ役割を担います。

るチカラ
活動)のご紹介

05

ほかにも、こんな活動に役立てられています

- ・鷹栖町老人会（会員同士の安否確認事業）
- ・ぽかぽかハートのつどい（精神障がいへの理解を深める事業）
- ・鷹栖町婦人ボランティアクラブ（鷹栖養護学校の寄宿舎清掃）
- ・たかすぶっくクラブ（鷹栖小学校での絵本の読み聞かせ）
- ・手話サークル 手愛（施設での手話うたの披露）
- ・鷹栖町遺族会（遺族の交流）
- ・おはなしの会キタキタ（北野小学校での絵本の読み聞かせ）
- ・北海道鷹栖高等学校（ボランティア活動）
- ・鷹栖中学校（地域連携事業）
- ・旭川けん玉サークル（けん玉を通じた多世代交流）

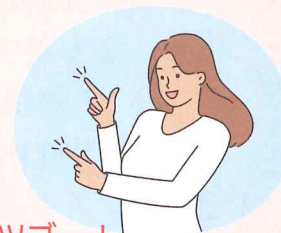


“地域の困りごと”に寄り添う活動を、あなたの赤い羽根が後押ししています

Q. 赤い羽根共同募金に協力したいけれど、どんな方法があるの？

A. はい、こんな身近な方法があります！

- ◎サンホールはぴねすで募金 → はぴねす de 募金（詳しくは5ページへ）
- ◎ご家族やご友人と一緒にイベントに参加 → ボッチャ大会（詳しくは6ページへ）
- ◎鷹栖町限定「募金バッジ」を身につけて応援 → サンホールはぴねす窓口へレッツゴー！



赤い羽根を、あなたのまちに。今日の一步が、誰かの明日を支えます。
みなさまのあったかすなご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



ドラえもんの貯金箱を作って



はぴねす de 募金

—お楽しみくじ付き—

しよう!

受付 かん

10月1日(水)～
12月26日(金)

8:30～17:00
(平日のみ)

ばしょ

はぴねす
1階 窓口

(ウェルカム宇宙ステーション)

はぴねすに「ドラえもん貯金箱」で
募金を持ってきてくれたお子さんは、
楽しい“くじ”を1回ひけます♪

どんな景品が当たるか、お楽しみに!
貯金箱は町内の幼稚園・保育園・小学校で
配布しますが、はぴねすにもご用意して
いますので、ぜひご利用ください。



さらに! 200円以上の募金で、
「クリアファイル」または「ボールペン」
をプレゼント♪

第2回TAKASU杯 町民 ボッチャ大会

優勝チームにはお米15㎏!と豪華景品進呈!

2025年10月25日(土)

受付 8:30～ 開会式 8:45

場所 鷹栖町総合体育館

(終了予定12:20)

全員に
参加賞あり!

職場の仲間と

家族と

友達と

サークル仲間と

イベント内容

《参加条件》

- ①鷹栖町民または鷹栖町内で働いている方が対象
※町外の方が同じチームにいるのは構いません
- ②チームに小学生未満の子どもがいる場合は、
高校生以上の人を必ず含めてください

参加費：1組1,500円

(参加費は全て『赤い羽根共同募金』として役立てられます)

募集チーム：24チーム（1チーム3～5人）※先着順

申込開始日：10月6日(月)午前9時～

申込締切日：10月17日(金)午後5時

《申込み・問合せ》

QRコード または お電話

☎87-4451

鷹栖町社会福祉協議会 担当：梅澤

※QRコード申込みにご不安がある場合は、
どうぞ遠慮なくお電話ください



《お申込みに必要な内容》

- ①代表者氏名・電話番号
- ②その他の参加者氏名
- ③チーム名

※今年は団体でのお申込みに限らせて頂きます

主催：鷹栖町社会福祉協議会
ボランティアセンター運営委員会
共催：鷹栖町教育委員会
たかす総合型地域スポーツクラブ

協力：鷹栖町スポーツ推進委員会
旭川パラスポーツ協会
鷹栖町米麦改良協会

あなたのデザインが、
2026年版 鷹栖町限定
「赤い羽根共同募金」バッジに！



赤い羽根共同募金バッジ デザイン画コンテスト デザイン大募集！

令和8年度の鷹栖町限定 募金バッジのデザインを募集します。
鷹栖町にお住まいの方、または町内でお勤めの方なら、
どなたでもご応募いただけます。
日々感じている鷹栖町の魅力を、ちいさなバッジに込めてみませんか？

デザインのポイント

- ・赤い羽根共同募金のイメージに合っていること
- ・鷹栖町に関わるモチーフが入っていること
- ・「赤い羽根」と「西暦または元号(例：2026/令和8)」が入っていること
- ・バッジ実寸(縦・横 約20mm)でも見やすく、わかりやすいこと
- ・未発表のオリジナル作品で、他者の知的財産権を侵害していないこと

応募方法

任意のA4白色用紙に、

- ①彩色したデザイン ②氏名 ③住所 ④電話番号
⑤職業・学校名 をご記入の上、鷹栖町社会福祉協議会の窓口まで
ご持参ください。

応募締切 11/28 (金)

応募先・お問い合わせ

鷹栖町社会福祉協議会 鷹栖町南1条3丁目2-1 サンホールはぴねす 1F TEL：87-4451

みなさまの想いがつまった素敵なデザインを、心よりお待ちしております！

ー あとがき ー

共同募金運動がスタートすると、「募金に協力おねがいします」と街頭運動によく出会います。

「協力したい気持ちはあるけど今日は用意がない」「他で募金してきたからここではちょっと…」など、様々な事情があり通り過ぎることもあります。
でも、つい「断るのは冷たいよな」と後味の悪さが残ります。

募金は強制ではありません。それなのに、このような気持ちを抱いてしまう。

鷹栖町では街頭運動をやめ、募金したい方が募金できるような運動を進めています。

募金でお金を集めることも大事ですが、今、鷹栖町ではどんな課題があって、どんな支援活動が行われているのかを知って頂くこともとても大切なことなんです。

今は募金には協力できないけど心の中でエールを送る。

これも素敵な協力の一つです。

ひとりひとりの思いやりが重なれば、地域も社会ももっともっとやさしい場所になっていく。そんな確かな思いを胸に、この紙面をお届けします。